



▲当日はあいにくの雨でしたが、苗木にとっては、定着が良くなる恵みの雨となりました。

◀参加者一同で記念撮影を行いました。植林作業のあとは同町婦人会からおにぎりが振る舞われました。

植林で豊かな水源を守る

川の源流である山に水が育まれるようにと4月29日、広瀬町西比田地内で広葉樹（クヌギ）の植林が行われました。この活動は、広瀬町ふるさとの川浄化実行委員会や同町婦人会、しまね東部森林組合、県企業局らが平成11年からボランティアを募って毎年実施。今年は安来、松江、出雲各市から家族連れら約40人が参加しました。

用意されたのは約1m高の苗木250本。参加者はクワを使って力いっぱい地面を掘っていました。松江市から参加した品川昌之さんは、「今年で参加して3年目。この植林が自然豊かな水源につながればうれしいです」と話していました。

たうん とびっくす

まちの話題や出来事をご紹介します

今月の一枚



100種類を超えるチューリップが今年も咲き誇りました。訪れた人は自分の好みの花を探して、眺めたり写真を撮ったりして楽しんでいました。

(4月5日：伯太町東母里)

市内産業をサポート 市長日記

市・安来商工会議所・安来市商工会・JALしまねやすぎ地区本部で組織する「産業サポートネットやすぎ」。4月15日に各団体の代表者が集まり、令和2年度の事業報告や令和3年度の事業計画・予算などを審議しました。

今後も各団体と連携を密にして、事業者の支援や各種事業の実施により、市内の産業振興を図っていきます。



◀各団体の代表と情報交換も行いました。



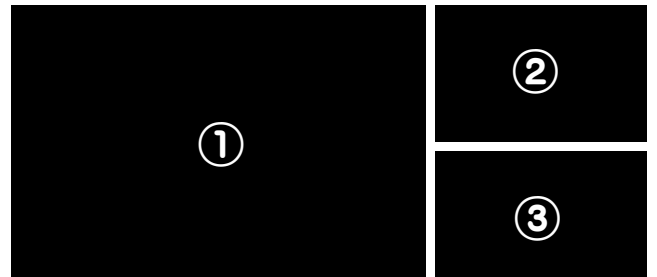
このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



10周年の感謝を込めて

開駅10周年を祝って4月24日～26日に「道の駅あらエッサ」で10周年記念感謝祭を開催しました。来場者には、日頃の感謝を込めて記念品をプレゼント。紅白もちやオリジナルせんべいなどが配られました。山陰の味覚が詰まった記念福袋の販売も行い、家族連れなどでにぎわいました。

また、24日・25日には米子工業高等専門学校がロボコンショーを披露。ハンドベルを持ったロボットの演奏で会場を盛り上げました。



①スイッチに手をかざすとロボットが演奏を始めます。子どもたちは興味津々でした。②10周年ロゴマークをデザインした松本藍斗さん。表彰状が贈られました。③26日に限定販売された記念切符。藍染めの綿布を貼りあわせて作られています。

田園を鮮やかに彩るシバザクラ

広瀬町東比田で栽培されているシバザクラが4月下旬から5月上旬まで見頃を迎えていました。

今年は例年よりも早い咲き始め。田んぼの法面に鮮やかなピンクや白の花が彩りを添えました。このシバザクラは、法面の草刈り作業の負担を減らすために栽培されるようになったのが始まり。今ではこの美しい景観を一目見ようと見頃になると市内外から見物客が訪れています。

永田集落が行うシバザクラ植栽事業は平成31年に第26回しまね景観賞優秀賞、中国四国農政局表彰優秀賞、JAしまね地域貢献・地域活性化団体活動表彰を受けています。



▲田んぼの水面に反射する場所は人気のスポットです。

